

消費税増税へ国民をだますやり方は許せません

ご町内のみなさん、こんにちは。日本共産党 支部（後援会）です。ただいまより、この場所をお借りして訴えさせていただきます。しばらくの間、ご協力よろしくお願ひします。

みなさん、福田首相が責任者になっている、国の経済財政諮問会議（けいざいざいせいしもんかいぎ）に提出された「大増税」プランが、いま波紋を広げています。それは、社会保障の水準を維持するためには、消費税率17%が必要になるというものです。福田首相も「負担がいやなら、社会保障給付のカットをお願いしなければならない」と言い出しました。消費税増税を受け入れるか、社会保障切り捨てを我慢するか、こんなことは国民から見れば、選びようのない許しがたい脅しにほかありません。

みなさん、今度のプランには、「消費税増税は仕方がない」という世論をつくる“カラクリ”が隠されています。一つは、「歳出削減」といいながら、その対象は社会保障だけで、世界でも異常に多い軍事費や公共事業などは、毎年2%から3%伸び続けることが前提になっていることです。

二つ目の“カラクリ”は、法人税や所得税など日本にはいろいろな税金があるのに、増税の対象にするのは消費税ただ一つで、すべて庶民にかぶせようとしていることです。

みなさん、このプランは日本経団連の御手洗会長らが政府につくらせたものです。つね日頃、「消費税を20%まで増税し、大企業への税金をもっと下げろ」と要求している人たちがつくったシナリオで、国民をだますようなやり方は許せません。

消費税は、わずかな年金でくらしている高齢者や所得の少ない人ほど負担が重くなる、社会保障の財源として一番ふさわしくない税金です。日本共産党は、消費税の増税には断固反対です。

みなさん、これからの社会保障を支える財源は、ほんとうに消費税しかないのでしょうか。

日本共産党は、二つの改革を提案しています。第一は、大企業へのゆきすぎた減税をただすことです。政府の統計でも、庶民には増税を押しつけながら、大企業の税金は最近9年間で5兆円も減税されています。このゆきすぎた減税を、かりに半分ただすだけでも3兆円近い財源がつかれます。第二は、年間五兆円にもなる軍事費にメスを入れる事です。アメリカのいいなりになってすすめている、インド洋への自衛隊派遣費用は1650億円です。さらに、米軍をグァムに移転する費用に3兆円もの税金を使おうとしています。アメリカの戦争を支援するために使っている税金こそ、社会保障のために使うべきではないでしょうか。

一方、民主党も大企業から献金を受け取り、党の代表が、自衛隊の海外での武力行使に道を開く発言をするなど、自民党政治を根本からただす立場をもっていません。悪政の進行をくいとめ、自民党政治を転換するために、自民党政治にかわるほんものの改革をすすめましょう。

みなさん、日本共産党は11月16日、北海道厚生年金会館で午後6時30分より、志位和夫委員長を迎え、「これからの日本を考える」懇談会をおこないます。ぜひ、みなさんおいで下さい。

最後に、日本共産党が発行している「日刊赤旗」、「赤旗日曜版」を、この機会にお読みください。

以上でこの場所での日本共産党の訴えを終わらせていただきます。ありがとうございました。